



運動器機能解剖学研究所

〒500-8443 岐阜市神楽町21-2 名光ブレース社屋内



略 歴

1986年：国立療養所東名古屋病院附属リハビリテーション学院理学療法学科卒業

1986年：国立津病院（現国立病院機構三重中央病院）整形外科機能訓練室

1991年：平成医療専門学院理学療法学科

2001年：吉田整形外科病院・五ヶ丘整形外科運動療法センター

2007年：中部学院大学リハビリテーション学部理学療法学科教授

2015年：(株)運動器機能解剖学研究所開設代表

所属学会

整形外科リハビリテーション学会・日本整形外科超音波学会・中部日本運動器超音波研究会・日本肩関節学会・日本義肢装具学会・日本足の外科学会・日本腰痛学会・等

執筆書籍

運動療法のための機能解剖学的触診技術・運動療法のための運動器超音波機能解剖 拘縮治療との接点・関節機能解剖学に基づく整形外科運動療法ナビゲーション・肩関節拘縮の評価と運動療法（監修）・機能解剖学的触診技術動画アプリ（監修）・他多数

ご挨拶

2015年5月、永年の同志である岸田敏嗣先生とともに、「運動器機能解剖学研究所」を設立いたしました。理学療法士として30年間は、「機能解剖学的運動療法・機能解剖学的触診・運動器超音波機能解剖」をキーワードに、臨床、教育、研究に自分なりに取り組んできました。

研究所の活動の1つ目として、今まで蓄積してきた、「知識」・「技術」を、書籍・映像・雑誌として情報発信していきます。運動器診療に携わるセラピストにとって意味のある知見を、よりわかりやすく、そして私たちが整形外科リハビリテーション学会を通して推進してきた「scienceとskillとの融合」に関する知見を活字として世に発信していきたいと思えます。

研究所の2つ目の活動として、運動器疾患に真摯に取り組んでいるセラピストのために教育機会を提供します。私の週末は、様々な地域で開催される学会、研究会、研修会等で年間40回に迫る講演を行わせて頂いています。その度に、共感していただける整形外科医、セラピストとの出会いは、私の財産となりました。その一方で、東京、名古屋、大阪以外の地方で働くセラピストにとっては、私の講演を受講する機会は極めて少なく、受講機会を求め多額の経費を使って、受講している現状があるのも事実です。家庭を持っているセラピストにとっては、「もっと勉強しなければならない」意思はあっても、現実問題として我慢せざるを得ない現状も聞こえてきます。そこで、残りのPT人生は、真摯に理学療法を追及している地方のセラピストのもとにできるだけ足を運び、少しでも「機能解剖学」をベースとした運動器理学療法をお伝えしたいと考えました。やる気のあるセラピストがある程度集まれば、週末その地方に私たちが直接足を運び、運動器機能解剖学研究所のプロデュースで、「デリバリーセミナー」を実現します。

研究所の3つ目の活動は、私達（林&岸田）を独占して学ぶプライベートセミナーの開催です。様々な研修会では、複数人に対して技術指導しますので、技術の妙とか、コツを各個人の技術レベルに合わせて教えることは不可能です。セラピストは治療行為の一端を担う技術専門職ですから、「洗練された技」は絶対に必要です。ある程度技量が高いセラピストには、臨床で更に深い洞察や技術の展開を、経験の浅いセラピストには翌日から臨床に役立つ技術とともに、現時点で抑えるべき課題を明確化する必要があります。平日の1日を有効利用したプライベートセミナーは、現時点での自分の振り返りとして、また、私達の技術の妙を「hand to hand」感じ、ぜひ臨床に還元して下さい。

研究所としての最大のテーマが「運動器超音波機能解剖学」の推進です。運動器超音波は、今後間違いなくブレイクする分野と考えられますが、理学療法士が学ぶ機会は決して多いとは言えません。画像描出の技術は、4~5名で1台の超音波を利用するデリバリーセミナーをきっかけとして、さらに技術精度を高めたい方はプライベートセミナーでマスターしてください。セラピストが運動器超音波を正しく理解し、さらに研究を進めることこそ、運動器リハビリテーションのscienceを、必ずや一歩進める原動力になると信じています。その後は、研究所の「fellow（仲間）」として、運動器リハビリテーションにとって意義のある研究と一緒に推進していきましょう。

私のPT人生も最終章となります。今後の運動器理学療法の発展のために貢献できれば幸いです。

デリバリーセミナー&プライベートセミナー ラインナップ

Lineup of delivery seminar & private seminar



Clinical Palpation: 触診技術と臨床技術との融合(上肢編・下肢編)

機能解剖学的触診技術を、臨床技術に落とし込むための「基礎的かつ臨床的な触診技術セミナー」です。きっちりと触れるからこそできる評価、組織を確実に捉えられるからこそできる運動療法技術を上肢もしくは下肢それぞれについて学びます。翌日の臨床では、触れたからこそ診えるものが変わるはず。人に触る技術者としてのプライドが芽生えるきっかけになれば幸いです。



運動器超音波機能解剖ハンズオンセミナー

私の書籍「運動器超音波機能解剖 拘縮治療との接点」の内容を学ぶ、超音波機器を実際に使用したハンズオンセミナーです。デリバリーセミナーでは、4~5名で1台のエコーを使用し、触診技術と超音波画像との融合を目指します。もうすでにエコーに触れており、さらに運動器超音波が学びたい人は、プライベートセミナー(最大2組限定)で学び、エコー研究へと発展させていきます。



肩関節障害に対する機能解剖学的運動療法

肩関節機能解剖、超音波解剖を踏まえた肩関節運動療法について系統的に学びます。肩関節障害に対する運動療法の目的は、骨頭求心性の改善に尽きますが、それらを乱す要因について、深くマニアックに迫ります。整形外科運動療法ナビゲーションに掲載されている技術もふくめて、どっぷり肩関節に浸ってください。



肘関節・前腕に対する機能解剖学的運動療法

肘関節・前腕の機能解剖、超音波解剖を踏まえた肘関節運動療法について系統的に学びます。肘関節・前腕障害に対する運動療法の目的は、安定した可動域の確保とともにスポーツ障害における疼痛管理が大切です。整形外科運動療法ナビゲーションに掲載されている技術もふくめて、どっぷり肘関節・前腕に浸ってください。



股関節に対する機能解剖学的運動療法

股関節機能解剖、超音波解剖を踏まえた股関節運動療法について系統的に学びます。肘関節障害に対する運動療法の目的は、安定した可動域の確保とともに鼠径部周辺疼痛、跛行に対する認識が大切です。整形外科運動療法ナビゲーションに掲載されている技術もふくめて、どっぷり股関節に浸ってください。



膝関節に対する機能解剖学的運動療法

膝関節機能解剖、超音波解剖を踏まえた膝関節運動療法について系統的に学びます。膝関節障害に対する運動療法の目的は、安定した可動域の確保とともに周辺疼痛の解釈と運動療法とのマッチングが大切です。整形外科運動療法ナビゲーションに掲載されている技術もふくめて、どっぷり膝関節に浸ってください。



足関節・足部に対する機能解剖学的運動療法

足関節機能解剖、超音波解剖を踏まえた足関節・足部運動療法について系統的に学びます。足関節・足部障害に対する運動療法の目的は、安定した可動域の確保とともに周辺疼痛の解釈と運動療法とのマッチングが大切です。整形外科運動療法ナビゲーションに掲載されている技術もふくめて、どっぷり足関節・足部に浸ってください。



慢性腰痛に対する機能解剖学的運動療法

非特異的腰痛に対する運動療法について系統的に学びます。非特異的腰痛に対する運動療法は、腰痛のタイプを分類するための評価と、実際の治療技術の適応が極めて大切です。腰痛の出所をいかに見つけ出すか?そのプロセスの理解には、十分な知識と正確な評価ならびに治療技術が必要です。じっくりと腰痛解釈について浸ってください。



クリニカルインソール療法の技術習得

クリニカルインソールについては、プライベートセミナーでのみ、しかも最大2組で行います。インソール技術の習得は、決して簡単ではありません。有痛性疾患を機能解剖学的にどう解釈し、インソールでどう治すのか?パッドの角度、挿入具合など、言葉で伝えられないコツをマンツーマンで学んでいただきます。インソール技術の習得は、PTIにとって大きな武器を持つことになるはず。必ずペアで申し込みをお願いします。受講料は1日(8時間)で50000円/ペアです。インソールと超音波ハンズオンは最大2ペア、その他は最大4ペアで開催します。セミナーの申し込みは、ukk501@yahoo.co.jp に、直接メールしてください。

デリバリーセミナー申し込み方法

- ・地域に関係なく、セミナー受講希望人数により受講料金が異なります。週末の10時間を基本として、受講生20名の場合(20000円/1名)、30名の場合(18000円/1名)、40名の場合(17000円/1名)です。
- ・セミナー会場は受講者所属施設のリハ室もしくは会議室を利用させていただきます。別途、セミナー会場の手配が必要な場合には、実費分を請求させていただきます。
- ・セミナー開催に関わる交通費、宿泊費は不要です。研究所で手配します。また、食事会等の接待も不要です。一緒に夕食を共にする場合は気持ちよく割り勘をお願いします。
- ・セミナー開催にあたり、窓口となる代表者が申し込みをお願いします。代表者はセミナー当日の送迎が必要な場合には、ご協力をお願いします。その際には、スタッフ協力手当を別途支払わせていただきます。

プライベートセミナー申し込み方法

- ・必ずペアで申し込みをお願いします。受講料は1日(8時間)で50000円/ペアです。インソールと超音波ハンズオンは最大2ペア、その他は最大4ペアで開催します。セミナーの申し込みは、ukk501@yahoo.co.jp に、直接メールしてください。

待望の動画アプリ
2016年3月下旬発売!!

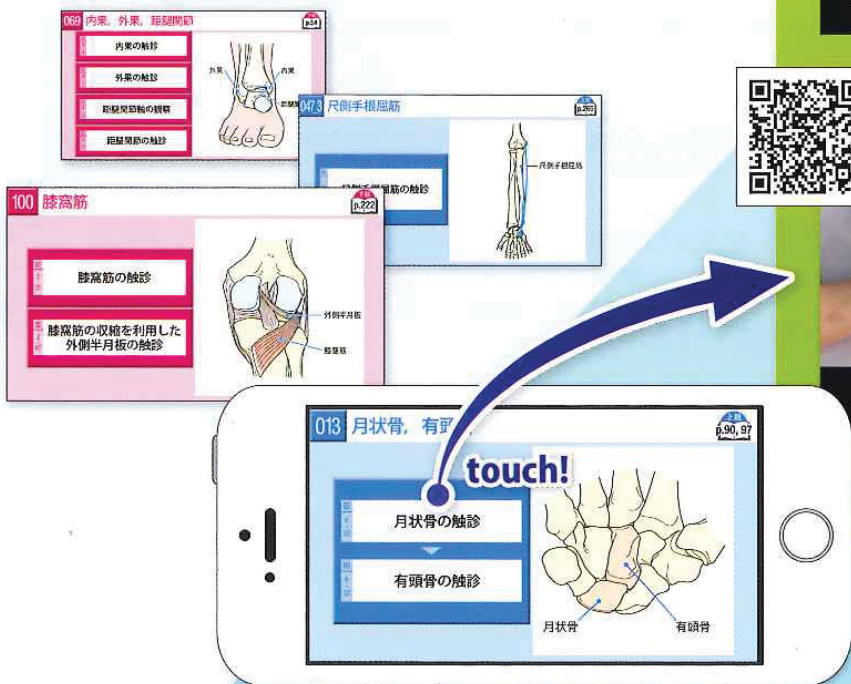


動画でマスター! 機能解剖学的 触診技術

監修 林 典雄 運動器機能解剖学研究所 代表

大好評いただいている『運動療法のための機能解剖学的触診技術』の手技を動画に収録。よりわかりやすく、スマートフォンやタブレットなどで、いつでもどこでも閲覧できる携帯アプリとして新登場!

ちょっとした移動時間にも素早く閲覧可能、知識・技術の学習に役立ちます。エキスパートの手技を複数カメラで同時に撮影することにより、写真ではイメージが難しかった立体的な動きもよくわかるようになっていました。また、アプリ内には書籍の参照ページも記載し、書籍と合わせて「機能解剖」をより深く学ぶことができます。



iPhone, iPad, Androidスマートフォン、タブレットなどで動作します。約80枚のカードで構成され、カードには解剖イラストと、動画を配置。ボタンをタッチすると動画が再生されます。

このQRコードを読み取りアプリで読み込むと、サンプル動画が閲覧できます。



側手根屈筋

SAMPLE
©MEDICAL VIEW 2016



そのまま近位へと追いつながら 筋腱移行部の位置を確認します



月状骨・有頭骨

SAMPLE
©MEDICAL VIEW 2016

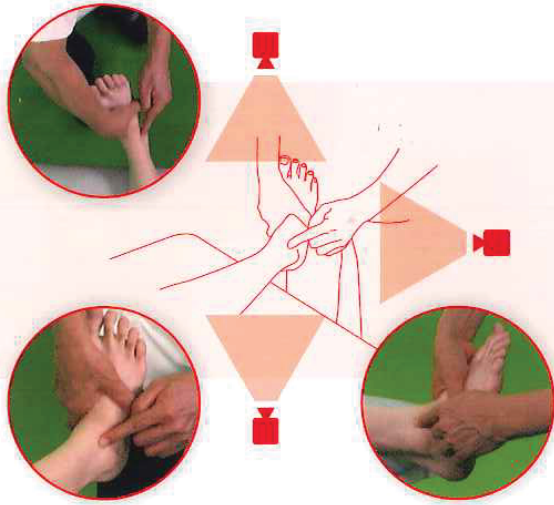


背屈することで関節内へと月状骨が入り込み
掌屈することで突出します

※QRコード読み取りアプリは各自でご用意ください。
動画再生時に音声流れますのでご注意ください。

※画面は制作中のものです
※「QRコード」は(株)デンソーウェーブの登録商標です

触診の様子を複数カメラで 三次元的に同時撮影



スマートフォンで見やすいよう 画面を構成

(タブレット等での閲覧時には画面サイズに応じて拡大表示されます)



距骨と脛骨下端との境目を探りながら十分に運動を繰り返し
徐々に内側へと指を進めます



解説ナレーション音声・字幕入り

Sample Movie

このQRコードを
読み取りアプリで読み込むと、
サンプル動画が閲覧できます。

※QRコード読み取りアプリは各自でご用意ください。
動画再生時に音声が届きますのでご注意ください。



左手は腸脛帯・腓骨頭・大腿二頭筋からなる間隙に指をあて
半月板後角を触ります



距骨と脛骨下端との境目を探りながら十分に運動を繰り返し
徐々に内側へと指を進めます

触診技術の基礎となる機能解剖について、詳しくは
書籍『運動療法のための機能解剖学的触診技術』を
参照ください。



ISBN978-4-7583-1136-6



ISBN978-4-7583-1137-3

2016年
3月下旬
発売

動画でマスター! 機能解剖学的触診技術

上肢

価格(本体 2,800円+税)
動画収録数: 104本(計100分)
ISBN 978-4-7583-1700-9

下肢
体幹

価格(本体 2,800円+税)
動画収録数: 128本(計112分)
ISBN 978-4-7583-1701-6

お得な

上肢

+

下肢
体幹

セット

価格(本体 5,000円+税)
ISBN 978-4-7583-1707-8

iOS / Android / Windows 専用
※「メジカルビュー社eBook Library」に準ずる

※ご注文、お問い合わせは最寄りの医書取扱店または直接弊社営業部まで。

メジカルビュー社

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2番30号 TEL.03(5228)2050 FAX.03(5228)2059
http://www.medicalview.co.jp E-mail(営業部) eigyo@medicalview.co.jp

動画でマスター! 機能解剖学的触診技術 を注文します。

※ご希望の商品の欄に本数をご記入ください。

上肢	価格(本体 2,800円+税) ISBN 978-4-7583-1700-9	本	上肢+下肢・体幹セット	
下肢・体幹	価格(本体 2,800円+税) ISBN 978-4-7583-1701-6	本	価格(本体 5,000円+税) ISBN 978-4-7583-1707-8	本

申込日 年 月 日

取扱店 **メジカルビュー社**

フリガナ
お名前

お届け先

〒 (どちらかに○印 / ご自宅・ご勤務先)

TEL. ()